

// PICKUP //
日々の活動報告



①市立前橋高校第22回けやき祭 校内は撮影禁止なので思い出を残せるよう入り口に、同窓会が顔はめパネルを用意した。②ヴィーガン・インバウンド対応セミナー ヴィーガン(VEGAN)とは、動物由来のタンパク質を一切とらない主義のこと。オリンピックで多くの訪日客が見込まれるため対応することが求められている。③山本高之とアーツ前橋のビヨンド20XX ベルトコンベア方式でみんなて絵を描いた。子ども達の関わったものが美術館で展示され作品となる。アーツ前橋があることで様々な機会が生まれている。

④サマーコンファレンス2019 SDGs(持続可能な開発目標)のブースでは、展示とトークイベントでこれからの未来に必要なと思われる問題を掘り下げていた。⑤上州名物まえばし水合戦 参加人数は過去最高。徐々に前橋の風物詩に近づいている。シャボン玉マシーンやDJによる選曲がイベントに華を添えた。⑥第3回アーツカウンスル前橋・文化芸術市民会議 自分を含む5人でのトークセッション。継続は力なり。しかしそれが一番難しい。モチベーションをどこに設定するかもとても重要。

AKATONE NEWS

●平成31年第3回定例会開催予定

どなたでも傍聴できますので、市議会の様子をぜひご覧ください。

- 9月 3日(火) 本会議(初日:提案理由の説明)
- 9月 10日(火)~11日(水) 本会議(総括質問) ※赤利根 質問予定は11日
- 9月 26日(木) 本会議(閉会)

※本会議の傍聴は議会庁舎5階の議場入口で受け付けます。
※手話通訳を希望される場合は、傍聴希望日の7日前までに下記へご連絡ください。

前橋市議会 赤利根 〒371-8601 前橋市大手町二丁目12-1 ☎ 090-3510-6113

●赤利根ブログ毎日更新中! 「赤利根」で検索!



【第69回 前橋七夕まつり】 半世紀以上続く北関東最大級を誇る七夕まつりが7月4~7日の4日間開催された。まつりの初日は木曜日。その前日となる水曜日は定休日の商店が多いので、準備の日に。私の事務所がある弁天通りでは、市内中学校の美術部やサービスの飾りが多い。みんなで協力して何かを作り上げている姿はとても楽しそう、まちなかは表現の場なのだと思えて感じる。事務所の入るビルでも出展し、優秀賞を受賞。黒板という原始的なメディアと枕をアトラクションに見立て、プロジェクターで映像を投影するという内容。一年に一度しか会えない、織り姫と彦星の儚さを表現した。YES NO 枕は本当に人気で、道行く人達が群がる瞬間もあった。アーケードの上には、飾りをつけるための滑車がついているが、お祭りの時にしか使わないのはもったいない。展示などでもっと使用できるのではないかと。そのとき、アーケードはギャラリーに姿を変えるはずだ。

前橋市議会「赤利根」とは？

赤城山の赤に利根川の利根であかとねと読みます。はるか昔からこの地を形成してきたその2大要素を中心に、前橋のさまざまな魅力を市民の皆様とともに考えて、市外、県外、海外に誇れるまちにしていきたい。この思いを実現していくために活動する会派です。



所属議員

岡 正己 (おか・まさみ)

1980年12月29日生まれ。前橋市出身、住吉町在住、まちなかが活動拠点のため事務所は千代田町。父は大利根町、母は富士見町のmade in 前橋の38歳。二児の父。

第2回定例会の報告

令和元年5月30日～6月18日

令和元年6月10日 総括質問二日目(23分間)

岡正己(赤利根)

※議員の発言内容は「読みやすさ」を意識し、割愛・編集している箇所がございます。

議事録は「前橋市議会議事録」としてウェブ上で公開されておりますのでそちらをご覧ください。

URL: <http://www.city.maebashi.gunma.dbsr.jp/index.php/>

1. 空き家対策について

現状の課題、今後の進め方



中心街のとある空き家。徒歩移動の範囲に様々なものが集積している中心街地のメリットを最大限に感じるのに、多くの人に空き家の活用を考えてもらいたい

郊外への居住が進むなか、中心市街地の空き家は増加しています。一方、郊外では高齢化が進み、車の運転が困難になったり免許を返納したりした高齢者の、日々の移動手段が制限されることが懸念されています。

岡議員 年を取ってから車に頼らず安心して暮らせるよう、郊外に住む市民を、駅、市役所、病院などの公共施設が集積する、住みやすい地域である中心市街地の空き家に呼び込むこともできると考えます。中心市街地における空き家対策について、現状の課題と今後の進め方を伺います。

都市計画部長 平成27年度から29年度の3カ年にかけて実施した空き家実態調査の結果を踏まえ、空き家等対策計画において最重点地区、重点地区を定め、空き家対策を効果的・効率的

に進めております。最重点地区及び重点地区については、空き家対策補助制度において一部条件を緩和するなどの対応を行っております。

岡議員 空き家の発生を抑制するためには、もっと人を呼び込む仕掛けがあってもいいのではないかと考えています。そこで、空き家所有者へのメリットを加算するなど、より一層手厚い補助があると効果的だと思われそうですが、当局の見解を伺います。

都市計画部長 空き家の実態調査や空き家所有者への意向調査を踏まえ、まちなか居住の取組みと調整を図るとともに、中心市街地活性化施策と連携し、対応を図ってまいります。

2. 公共空間の活用について

道路、水辺、駐車場の利活用



城東町立体駐車場 1階出入口のスロープの間にある広場。1階は人の出入りするところではないので、防犯上危険な箇所でもあります。もし誰かが連れ込まれても気づくことができません。現在価値がないと思われる場所の利活用で、新しい価値が創出できるはず

けやき並木通りのストリートバルや、弁天通りの弁天ワッセなど、道路を活用したイベントが中心市街地で多く見られるようになってきました。

岡議員 イベント時の一時的な使用だけでなく、占用許可等の規制を緩和しながら、日常的に公共空間を活用することができれば、にぎわい創出につながるでしょう。こうした道路や水辺の利活用に関する現状と今後の取り組みについて伺います。

都市計画部長 現在、都市再生整備計画に位置付けたまちづくり公社が、交流人口の増加による賑わい創出を目的とした公共空間の利活用に取り組んでいるところです。今後は、現在策定中のアーバンデザインにおいて、道路や水辺、広場等の積極的な利活用について、民間のニーズやアイデア等の意見収集を行いながら検討を進めており、国土交通省の制

度による規制緩和策等を活用しながら、広瀬川などの水辺空間においても利活用を進めてまいります。

岡議員 中心街の駐車場、特に城東町立体駐車場について、利用の少ない上層階や、1階出入口のスロープの間にある広場を活用できるのではないかと考えています。

産業経済部長 当該駐車場は平成6年に設置し、年間約16万台の利用があります。まちなかのイベントやベシシア文化ホールの催しがある日には満車になることも多いです。屋外駐車場での映画鑑賞会の事例もあることから、利用台数の少ない平日や夜間など、周辺で行われるイベントの日程や定期利用者との調整も含め、活用策について研究してまいります。1階の広場は、安全管理上・車の排気ガスによる環境面での課題などがあり、これまで活用されてこなかったのが実情です。

●3 第21回都市経営セミナー「文化芸術ガバナンスと公民連携」



岐阜県の可児市文化創造センター館長兼劇場総監督 紀生氏や東京大学大学院政治学学科研究科・金井利之教授、豊島区長・高野之夫氏らの事例紹介とパネルディスカッション。国の動向や、他市の先進事例などにかき勉強になった。

行政が行う文化政策の意味とは何か。それは儲かるからやるのではなく、その地域に必要なからやるのだ。民間とは違い興行ではないのだ。稼げるものであれば民間が既にやっているはずである。ではその時に稼げないとわかっていても行政がや

るべきこととは何か。文化芸術の正当性をどう担保するのかということもとても興味深い。正解はどこか、決定者は誰なのか。多数派がいいと思うものは文化ではない。再生産されるものでなければ伝統ではない。日本は意思決定の過程に問題もあるようだ。今起こっている様々な問題の仕組みも理解できた。ものは作れば古くなる。箱物行政と言う負の遺産に苦しめられる財政。公民が連携することで解決策が見いだせるか。

●4 令和元年度群馬県市議会議長会議員研修会「政務活動費の活用～適切な使用と判例の動向～」



三重県地方自治研究センター・高沖秀宣先生が、昨年引き続きお話しくださった。実は、昨年の講演にとっても感銘を受けたので取材を申し込み、本紙の特集記事として掲載したことがある。そのとき、地方議会のことや議会基本条例など多岐にわたってじっくりお話しさせていただいたので、おさらい的に聞くことができた。今回は実際に、前橋市、高崎市、桐生市のそれぞれの会派の収支

報告書からどのような使われ方をしているのかを検証した。課題は、公聴費の割合が少ないこと。何をしているかわからないと言われる議員。市民との距離を縮めるために公聴費を効果的に使うことも必要だ。しかし、政務活動費の基本は「調査研究」である。有効に使い議員としての力をつけていきたい。

●5 早稲田大学×地方議員セミナー「自然エネルギーを活用した地域づくり」



講師は、東京大学先端科学技術研究センター産業連携新エネルギー研究施設特任研究員の谷口信雄氏。基礎編と応用編ということだったが、参加人数も少ないこともあり、ワークショップ的にその地域の課題を掘り下げる。谷口氏は元東京都庁の職員なので、自治体側からの目線と、東京からみた地方の目線がとて新鮮だった。地域課題を政策立案につなげていくために、自然エネルギーが地域にどれだけの効果をもたらすのかをホワイトボードで実際の数字を当てはめて検証した。群

馬、前橋のポテンシャルも探りながらとても実りのあるセミナーだった。何事も地産地消が望ましい。食だけでなくエネルギーもそうだ。全国では危機感を持ってエネルギー政策に挑んでいる自治体はいくつもある。生き残れるのは変化に対応できたものだけだ。今、時代の転換期にいる我々がやるべきことは変わることである。エネルギーを地域循環させることで利益も地域に還元できる。自然エネルギーはこれからの地方都市の生命線だ。

●6 一般社団法人地方議員研修会「新人議員のための議会のしくみ基本講座」



今回は、新人議員のための基本講座。私は今年で3年目になるが、まだ1期目。新人のうちにしっかりと学んでおきたいと考え受講した。コミュニケーションの基本から、議員とは、議会とは、の基本を学ぶ。他議会のやり方を聞けば聞くほど前橋市議会の姿が見えてくる。今の前橋市議会の本会議、委員会は市民にわかりやすいのか。なぜプロジェクターを使用して質問ができないのか。言葉だけで説明するということが解釈をその人に任せるということ。事実が重要な本会議の中で絵(写真)や図が使えないということは共通理解が得にくい。議会としての変化が必要だ。

近い将来のありたい姿(理想)と、現状と事実(現実)とのギャップは何か、ここにポイントがある。できない理由をどうすればクリアできるか。課題は何か。課題があれば改善できる。改善は誰の仕事か。議員である。議員は地域のプロデューサーという言葉がとて染み付いた。「新人議員になったら抑えておきたい議員の基礎知識」(講師:元逗子市議会議員でアイシーティー推進部会 君島 雄一郎会長)にも参加。私は、一人会派ということもありほぼ独学で挑んでいたが、セミナーを受けると様々なことが裏付けされていく感覚になった。「議員は2期目から」とよく言うのは、ぼっと出ではないことを2期目の当選が証明するところにある。

特集 人生勉強！ 各種セミナー・研修会行脚

見聞を広げ、議会での質問等に活かすため、積極的に各種セミナーや研修会へ参加しています。どこで、どんなテーマの会に参加し、何を感じたのか。6つの会についてレポートします。

●1 早稲田大学 × 地方議員研究会 「地域における小さな経済循環構築の実例、地方創生・大学の上手な使い方」



これからの地方に求められるものは、世界的な目線だ。世界から見てどうなのか。日本国内の他の地域や、隣の都市と比べていても何も生まれない。これから基本となるのは世界基準だ。

地域循環共生圏という言葉がある。エネルギー、経済、人、モノなどを地域で循環させる事が求められている。前橋なら、やはり自然エネルギーしかないだろう。しかし、法律や景観など自然エネルギーに対する課題はとても大きい。前橋がスマートシティを目指したときにゴミと呼ばれるものを考えなくてはならない。生ゴミはほとんどが水分で、その水分を燃やすために大量の石油が使われる。その石油はどこから来るのか。循環を考えて日々の生活を見直さなければならない。そもそも地域で資金を循環させて、地域に利益が循環することが地方創生なのだ。

RESASという国のデータベースによると前橋市の地域経済循環率は96.0%。数字だけ見れば決して悪くはない。むしろいい感じだ。

地方の大学もまた大きな意味を持つ。愛媛県であれば「みかん大学」ぐらい作れと言った人がいるらしい。そのくらい地域に特化したものでないと世界とは戦えない。

千葉県いすみ市の事例からブランディングの意味を再確認した。「いすみブランド」に認定されたものは、その後値段が上がっている。前橋の「赤城の恵ブランド」はしっかりとブランディングできているのか、価値が上がっているのか。しっかりと検証し、外部の人の意見も聞いて本当のブランディングをしていくことが求められている。

●2 全国市町村国際文化研究所 (JIAM) 市町村議会議員研修会・2日間コース「自治体予算を考える」



JIAM (ジャイアム) とは、滋賀県大津市の唐崎駅から徒歩3分にある研修施設で、年間延べ1,900人の議員を受け入れている。北は北海道、南は宮崎まで90人が参加。昼食後、入寮のオリエンテーションがある。入寮という響きがとても新鮮だった。午後から夕方まで講義があり自治体予算の基本から学ぶ。3ヶ月の新人議員から41年のベテランまで、受講議員の幅はとても広い。企業と自治体の予算の違いは、企業は目標なのに対して、自治体は約束だ。市長が今年度はこのお金でこういうことをしますと議会に示し、それを議決という形で承認する。議員は市民の代表なので、議員の承認を得たということは市民の承認を得た、つまり約束が結ばれたということだ。その責任は重い。交流会もあり、全国津々浦々の地域の課題を知るなど有意義な意見交換もできた。

2日目は、各自治体の財政状況についてポイントを抑えていく。もともと自治体の会計は独特なので慣れていない人が見てもよくわからない。それを企業会計のように一般の人にもわかりやすくしたものが地方公会計だ。財政の状況は資産や負債も関係してくるのがポイント。例えば市民サービスの建物を建てるとする。借金をすれば負債は増える。同時に建物という資産が残る。建物によって市民サービスは向上し、建物自体も市民の資産となるが、借金が増えるし、老朽化していくことで未来への負債にもなる。未来の価値を生み出す投資的な観点が要るだろう。そして、どこかに稼げるポイントを置くことも重要だ。予めリノベーションを想定しておくことも必要かもしれない。詰め込みきれない情報をいただき、とても身のある研修だった。

3. 高齢ドライバーについて

本市の取り組む対策は？



バスや電車を活用した様々な運転免許証自主返納支援制度が実施されています

全国的に高齢ドライバーが運転する交通事故が話題となり社会問題化する中で、より一層、高齢ドライバーに対する交通安全対策が必要です。

岡議員 現在、本市が高齢ドライバーに対して実施している対策の現状について伺います。

政策部長 運転免許証自主返納支援制度といたしまして身分証明書の代わりとなる運転経歴証明書の交付手数料、1,100円の全額助成、さらには、運転免許証自主返納支援バスカード（通称ころんバスカ）、ふるさとバス回数券、るんるんバス回

数券、上電マイレール回数乗車券の4種類からいずれか1種類、5,500円相当分を贈呈しておりまして、昨年度は1,374人の方に制度をご利用いただきました。また、認知機能の衰えに気付くための「運転時認知障害早期発見チェックリスト30」を福祉部と共同で作成し、全戸回覧を実施するとともに本庁舎内では介護保険課と長寿包括ケア課、また、各支所・市民サービスセンター、地域包括支援センターにおいて配布しています。

4. 観光振興について

群馬 DC とインバウンドの対応



現行の外国人向け観光ウェブサイト。とても見づらく、旬の情報が掲載されていません

前回、平成23年度の群馬DCでは、前橋市域の観光資源や物産の魅力を十分に発信し、継続的な観光誘客につなげることができたのでしょうか。

岡議員 前回の課題等を踏まえた上で、今回の群馬DCの前橋市の取り組みについて教えてください。

文化スポーツ観光部長 県のキャンペーン方針に基づき、それに応えるための観光素材や施設等の紹介・啓発に終始した感もありました。これを踏まえ、もっと前橋市の歴史文化・自然・生活等の中から、「特別感のある限定的な」観光素材となりうるコンテンツに対し「掘り起こしと磨

き上げ」を行い、「新しい観光素材」で取り組んでまいります。

岡議員 インバウンドについても気になります。市民にはあまり知られてないかもしれませんが、前橋の外国人向けの観光サイトを検索すると、コンベンション協会運営のウェブが代表的なものとして出てきます。ただ、ウェブサイトは前橋の顔なのに、一昔前の作りでとても見づらく旬の情報が何もありません。まずは今の時代にあったウェブサイトを作ることが必要です。群馬DCをきっかけに外国人向けの観光ウェブサイトのリニューアルを要望します。

5. 産業政策について

コラボレーションが新しい価値を生む



前橋市の補助・支援制度がまとまっているパンフレット「チャレンジ前橋」。前橋市のホームページからダウンロードすることもできる

本市では産業振興ビジョンにおける戦略の一つとして、「新産業の創出・成長産業の育成」を掲げています。

岡議員 各事業者による新規事業を支援すると同時に、多様な業種がバランスよく立地する本市の特性を活かし、異業種間の連携を推進することが、産業界にとっての新たな価値の創出になると考えます。

産業経済部長 本市では新製品・新技術開発に係る経費に対し補助事業を実施しております。設備投資促進補助金同様、ほとんど全ての業種の

事業者が申請主体となれる制度です。また、御用聞き型企業訪問サポート事業では、前橋商工会議所、前橋工科大学と連携し、業種を問わずに企業を直接訪問し、景況調査では拾えない個別のニーズをヒアリングのうえ、業種間マッチングや産学連携の後押しをしております。

岡議員 本市の産業構造の強みを活かすにはコラボレーションしかありません。コラボレーションが新しい価値を生むのです。引き続き市内事業者の声にしっかりと耳を傾けていただきたいと思います。